

|            |              |
|------------|--------------|
| 策定年月日      | 平成 6年 1月 21日 |
| 変更年月日(第1回) | 平成12年12月27日  |
| 変更年月日(第2回) | 平成17年 9月 27日 |
| 変更年月日(第3回) | 平成18年 2月 20日 |
| 変更年月日(第4回) | 平成22年 3月 9日  |

## 鳥取県農業経営基盤強化促進基本方針

平成22年3月

鳥 取 県

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第5条  
第4項の規定により、鳥取県農業経営基盤強化促進基本方針を  
次のとおり変更する。

平成22年3月9日

鳥取県知事 平井 伸治

# 鳥取県農業経営基盤強化促進基本方針

## 目 次

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 第1 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な方向     | 1  |
| 1 本県農業・農村の現状                  | 1  |
| 2 農業構造の現状と見通し                 | 3  |
| (1) 農家戸数                      | 3  |
| (2) 土地利用                      | 3  |
| (3) 農家構造の分化                   | 3  |
| 3 望ましい農業構造確立のための基本方向          | 4  |
| (1) 基本的指標                     | 4  |
| ア 効率的かつ安定的な農業経営の育成目標          | 4  |
| イ 目指すべき地域農業の在り方               | 5  |
| (2) 望ましい農業構造の展望               | 6  |
| ア 農家構造の展望                     | 6  |
| イ 農用地利用の展望                    | 7  |
| 第2 効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標        | 7  |
| 1 農業経営モデル策定の前提                | 7  |
| (1) 経営モデル設定の基本的考え方            | 7  |
| (2) 試算の考え方                    | 8  |
| 2 農業経営モデル類型                   | 8  |
| (1) 適用地域について                  | 8  |
| (2) モデル類型の区分                  | 8  |
| 第3 効率的かつ安定的な農業経営を育成するために必要な事項 | 9  |
| 1 農業経営体等の育成                   | 9  |
| (1) 効率的かつ安定的な農業経営等の育成・確保      | 9  |
| (2) 支援体制の充実及び関係機関の連携          | 10 |
| 2 農業経営基盤の強化の促進                | 10 |
| (1) 農用地の流動化と集団化の推進            | 10 |
| (2) 優良農用地の確保と基盤整備の促進          | 12 |
| 〈参考資料〉                        |    |
| 農業経営モデル類型                     | 13 |

# 第1 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な方向

## 1 本県農業・農村の現状

本県の農業は、三大河川の流域に拓けた水田地帯での水稻をはじめ、傾斜地や水田転換を利用した梨を中心とする果樹、黒ぼく及び砂丘畑の野菜、大山山麓地帯の酪農、山間地域の肉用牛など、自然条件を生かした多様な生産が行われている。特に、日本なし、すいか、ながいも、白ねぎ、ブロッコリーなどは産地形成が進んで、付加価値の高い園芸品目等の導入が進められており、売上1,000万円農家を1,000戸創出することを目標として、農業の担い手育成、生産振興など積極的な支援を実施しているところである。

このような中、認定農業者数は平成21年9月末現在1,205経営体で、微増傾向ではあるもののほぼ横ばい状態となっているが、経済状況の悪化によってI J Uターン者を中心とした就農希望者が増加しており、相談から就農までの一貫した支援体制の充実が喫緊の課題となっている。また、平成20年度まで年間平均40名前後で推移していた新規就農者数は、平成21年度には「鳥取県版「農」の雇用緊急支援事業」等で177名が採択されるなど飛躍的な伸びを見せているほか、建設業を中心とした企業参入についても、農地法の改正を契機として新たな参入が予想されている。

こうした新規参入の波は不足する農業の担い手を確保する上で喜ばしい傾向ではあるが、本県においてこれら参入者が継続的に営農活動を行い、農業・農村を活性化に導く新たな担い手として定着するにはさらなる支援策の充実が求められている

そこで、新規就農者が独立して営農するまでの実践的な研修体制が重要であり、農業法人等での研修生受入れや継続雇用が円滑に進むためにも、経営体の経営強化は不可欠な状況であり、経営体の規模拡大や加工・販売などを組み合わせた6次産業化などを促進しなければならない。また、財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構や鳥取市、日南町などにおける農地保有合理化法人による研修生受入れに見られるように、農地の流動化を担う組織が新規就農者の育成確保を自ら行う新たな動きも注目すべきものであり、これらとの連携を強めていくことが重要である。

次に、担い手への農地集積については、従来から農業委員会における斡旋等を行っているものの、借り手が必要な時に優良な農地を確保することが非常に困難な状況となっている。これは多くの地域で農地の出し手情報の収集ができていないことに起因するものであり、今後は市町村やJ A、市町村農業公社等が組織する農地利用集積円滑化団体が集落組織などと一体となって、農地情報の収集とマッチングを行う仕組みづくりが必要である。

一方、本県では機械・施設の共同利用等による集落ぐるみでの営農組織を育成してきたところであり、今後とも地域農業者の営農意欲の醸成やほ場条件等を勘案した地域に即した組織育成と法人化を推進していかなければならない。あわせて水田経営所得安定対策や戸別所得補償制度等の活用により、高度で収益性の高い水田農業を実現していくことが求められている。

さらに、中山間地などの条件不利地については、担い手への農地集積が非常に困難であることから、集落営農の積極的な推進によって、農地・農村の維持・発展を図っていくことが重要である。平成22年度からは高齢集落にも配慮された中山間地等直接支払制度第3期対策や耕作放棄地対策、さらに企業のCSR活動とも有機的に連携しながら、農地の保全と集落の活性化を進めていく必要がある。

いま、I J Uターン、企業などの参入によって、本県の農業は大きな転換点を迎えており、このような新規参入によって、従来にはなかった新規作物、それらを活用した加工品、さらには新たな流通

体系が生まれ、農業の活性化につながっていく新たな可能性が芽生えている。今後は、既存の農業者とともに、新たな担い手が飛躍発展できるよう、そのニーズの把握に努め、農業生産の組織化（法人化）、人材の育成確保、農地の流動化などを総合的な支援策として講じていくこととする。

## 2 農業構造の現状と見通し

平成 26 年度の農家戸数及び耕地面積と農家構造の分化を次のとおり見込む。

### (1) 農家戸数

過去 10 年間の農家戸数の推移より平成 26 年度の農家戸数を推計した結果、高齢化や後継者不足等の進展により、農家戸数は 30,000 戸と 14 % 程度の減少が見込まれる。

| 区 分     | 平成 17 年度 (A) | 平成 26 年度 (B) | B / A  |
|---------|--------------|--------------|--------|
| 農 家 戸 数 | 35,031 戸     | 30,000 戸     | 85.6 % |

### (2) 土地利用

耕地面積は 35,900ha で県土の 10.2 % を占めているが、転用等の改廃面積が開墾等の拡張面積を上回って推移しており、更に、近年、高齢化等により耕作放棄する農家が増加してきている。今後とも農地の減少傾向は続くものとして予測され、平成 26 年度には 31,400ha 程度になるものと見込まれる。

| 区 分     | 平成 17 年度 (A) | 平成 26 年度 (B) | B / A  |
|---------|--------------|--------------|--------|
| 耕 地 面 積 | 35,900 ha    | 31,400 ha    | 87.5 % |
| うち 田    | 24,700 ha    | 22,800 ha    | 92.3 % |
| うち 畑    | 11,200 ha    | 8,600 ha     | 76.8 % |

### (3) 農家構造の分化

平成 26 年度の本県の農家構造を展望すると、農業経営の拡大・充実を図り、優れた経営能力と高い技術力を備え、地域の農業生産をリードしていくような農業者、地域ぐるみで農業を担う集落営農型組織経営体、高齢化や後継者不在、更には農家世帯員の安定的兼業化等により経営規模を縮小して自給的・趣味的な農業を営む農業者、及び定年後新たに農業を営む定年帰農者等に階層分化していくものと予測される。このため、将来の農家構造は下表のように分化していくものとする。

| 農 家 分 類  | 内 容  |
|--|--|
| 効率的かつ安定的な<br>農 業 経 営<br>( 個別経営体<br>組織経営体<br>準経営体 ) | 主たる従事者の年間労働時間がその地域他産業従事者と同等であり、主たる従事者一人当たりの生涯所得が他産業従事者と遜色ない水準を確保し得る生産性の高い営農を行う経営(経営体)及びこの 7 割程度の所得を目標とする意欲の高い経営(準経営体)。 |
| そ農<br>の  | 販売農家   |
|  | 経営耕地面積が 30a 以上又は農産物販売金額が 50 万円以上の生産組織等の構成員として、地域農業を担っていく農家。  |
| 他<br>の家  | 自給的農家  |
|  | 他産業に従事しながら、休日等には農業に従事し、生産物の販売収入がある農家。  |

### 3 望ましい農業構造確立のための基本方向

農家戸数、耕地面積ともに今後も減少傾向で推移していく中で、効率的かつ安定的な農業経営を育成し、これらの農業経営体が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、施策誘導による目標として、望ましい農業構造確立のための基本方向を以下のとおり展望する。

#### (1) 基本的指標

##### ア 効率的かつ安定的な農業経営の育成目標

農業を職業として選択するに足る魅力とやり甲斐のあるものとしていくためには、地域の他産業従事者と遜色のない水準の生活を確保できる農業経営体を育成することが重要である。

このため、本県における他産業従事者の年間労働時間、生涯所得と均衡する水準の農業経営として、主たる従事者1人当たりの年間労働時間おおむね1,900時間、年間農業所得おおむね390万円以上を確保することができる経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営(経営体)の育成を図るものとし、次の育成・確保目標を見込む。

| 区 分   | 平成26年度目標  |
|-------|-----------|
| 個別経営体 | 1,800 経営体 |
| 組織経営体 | 150 経営体   |

また、この経営の育成目標を達成するために、水稻作等の土地利用型作物を中心に経営規模の拡大が必要となり、平成26年度におけるこの経営への農用地利用集積面積の目標を次のとおり見込む。

| 経営体への農用地利用集積目標 | 農用地利用に占めるシェア |
|----------------|--------------|
| 9,800 ha       | 31 %         |

更に、効率的かつ安定的な農業経営には、地域農業の担い手としての位置づけから、年間農業所得おおむね390万円以上の経営のみならず、自らの技術・経営状況に応じて、前述した経営体の7割程度の所得を目標とする意欲の高い経営(準経営体)も含めている。また、この経営体は、個々の経営規模の拡大を図りながら、必要に応じて集落営農等の生産組織のオペレーター等の役割を果たすため、農作業受委託面積の拡大が図られる必要がある。

このため、効率的かつ安定的な農業経営の平成26年度の育成・確保目標とこれへの農用地利用集積の目標を次のとおりとし、各種施策の積極的・重点的な推進により誘導を図る。

なお、農業経営の規模拡大に伴い、農業者の経営する農地が分散する傾向にあることから、効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対し農用地を面的に集積し、これらの者が農用地を効率的に利用し得るよう努めるものとする。

| 区 分           | 平成26年度目標  | 備 考                           |
|---------------|-----------|-------------------------------|
| 効率的かつ安定的な農業経営 | 4,000 経営体 | 個別経営体1,800経営体、組織経営体150経営体を含む。 |

| 区 分    | 効率的かつ安定的な農業経営への農用地利用集積目標 | 農用地利用に占めるシェア |
|--------|--------------------------|--------------|
| 合 計    | 14,700 ha                | 47 %         |
| うち経営耕地 | 12,300 ha                |              |
| うち作業受託 | 2,400 ha                 |              |

## イ 目指すべき地域農業の在り方

農業構造の分化が進む中で、地域農業の健全な発展を図るためには、地域における農家の役割分担を明確化し、地域が一体となった支援の下で、効率的かつ安定的な農業経営の育成・確保、これを核とした農業生産の組織化と農用地・作付面積の集積を進めることが必要である。

また、販売農家及び自給的農家は、地域農業の発展や農村集落の機能の維持等あらゆる面で今後とも重要な役割を担っていくとともに、農業生産のかなりの部分を支えていくものと予想される。このため、個別経営体と協力しながら、販売農家及び自給的農家の労働力の活用等、地域においてそれぞれの機能を補完し合うような地域農業のシステムとして集落営農型組織経営体の育成も重要である。

更に、中山間地域等まとまった農用地の少ない地域では、土地利用型作物を対象とする効率的かつ安定的な農業経営は困難であることから、販売農家及び自給的農家からなる集落ぐるみの営農組織を、平地地域では恵まれた生産条件を活用して、生産コストの低減や余剰労働力を活用した集約型農業に取り組むための営農組織の育成を推進する。また、これら集落を母体とする営農組織は、農村集落機能の維持等の面から必要不可欠なものであることから、機械の共同所有・利用だけにとどまらず、農業法人への発展を誘導する必要もある。

なお、高齢化が著しく進行し、担い手が少ない地域にあつては、農用地を守るため、市町村、農業協同組合等が参画した第3セクターその他の農業サービス事業体といった農作業受託組織の設立・育成が重要であるとともに、農地保有合理化法人や農地利用集積円滑化団体による研修機能を活用した担い手の育成とそれに伴う農地の流動化を積極的に推進する。

加えて、遊休農地及び今後遊休農地となるおそれのある農地のうち、農業上の利用の増進を図る必要のあるものについて、農地としての効率的な利用の確保及び遊休化の防止等を図る。

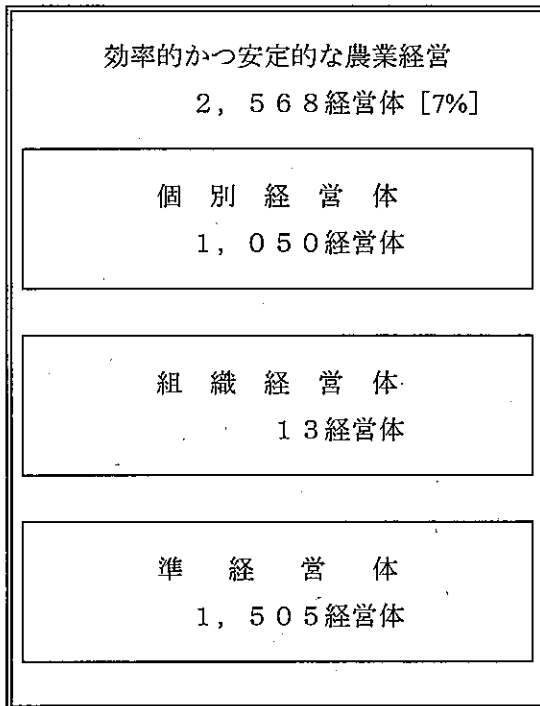
(2) 望ましい農業構造の展望

ア 農家構造の展望

平成26年度における農家構造は次のとおり展望される。

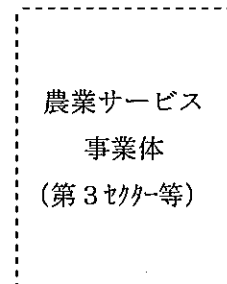
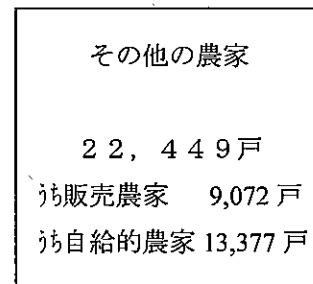
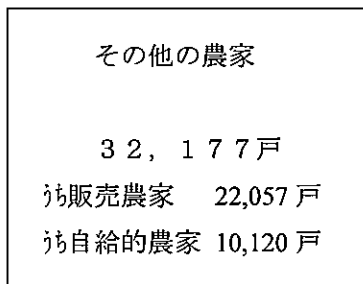
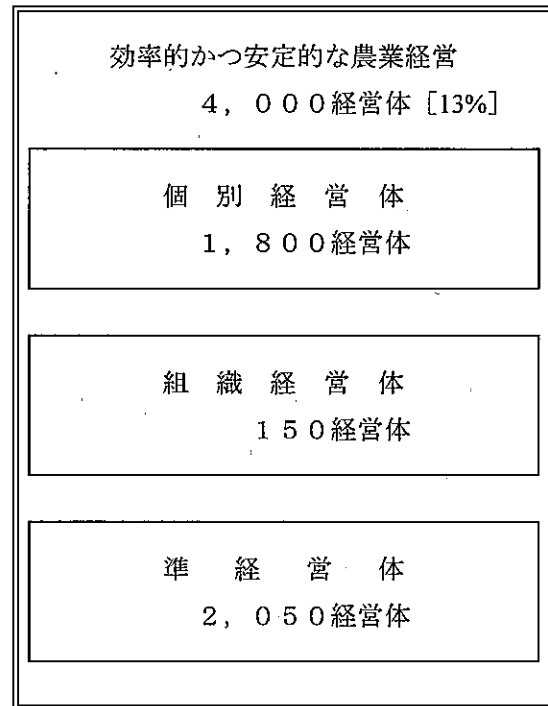
平成17年度

総農家35,031戸



平成26年度

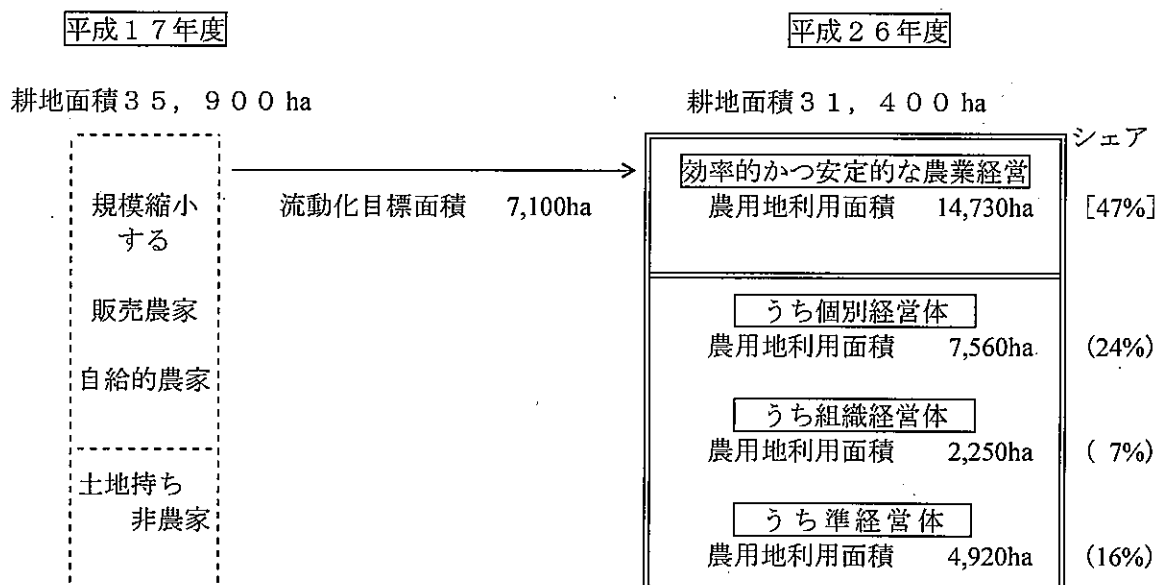
総農家30,000戸



## イ 農用地利用の展望

平成 26 年度の農業構造の展望において、総農家の約 13 % の効率的かつ安定的な農業経営への農用地利用集積の目標を農用地面積の約 47 % と見込む。

このためには、約 7,100ha の農用地流動化等（うち農作業受託面積 1,600ha）が必要となり、農地保有合理化事業及び農地利用集積円滑化事業を推進する必要がある。



## 第 2 効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標

### 1 農業経営モデル策定の前提

#### (1) 経営モデル設定の基本的考え方

ア 第 1 で示した経営体育成のため、それらが目標とすべきモデルとして策定したものである。

イ 経営モデル設定の前提条件として、本県における他産業従事者の年間労働時間、生涯所得等を考慮し、それらと同等の水準を達成しうる農業経営を基本に、本県で実際に営まれている代表的な経営事例を踏まえて策定した。

ウ 従って、現実には、個々で示した類型以外にも地域の実情に即した多様な経営が営まれるものと考えられることから、それぞれの地域において自然的・社会的諸条件を考慮した経営類型を設定していくことが重要である。

|         |        |                             |
|---------|--------|-----------------------------|
| 目標とする水準 | 年間労働時間 | 主たる従事者の年間労働時間：おおむね 1,900 時間 |
|         | 年間農業所得 | 主たる従事者 1 人当たりおおむね 390 万円以上  |

(2) 試算の考え方

経営体を育成するため、生産性の向上、機械施設の効率的利用体系の確立、既に確立した先進技術の導入、物財費の節減等低コスト生産営農体系を念頭において試算した。

2 農業経営モデル類型

(1) 適用地域について

ア 個別経営体は県全域、組織経営体は平坦地域と中山間地域の2つに設定した。

イ 経営モデルは、本県において実際に取り組まれている経営事例を参考に設定した。

(2) モデル類型の区分

個別経営体 18 類型、組織経営体 2 類型とし、モデル類型ごとの基本的指標については、巻末に参考資料として添付した。なお、社会情勢の変化等に適応したものとするため、必要に応じて適宜見直すものとする。

経営モデル類型

〈個別経営体：18 類型〉

| No. | 経営類型              | 作目                        |
|-----|-------------------|---------------------------|
| 1   | 稲・大豆型             | 水稻、大豆、作業受託                |
| 2   | 露地野菜Ⅰ型            | らっきょう、水稻                  |
| 3   | 露地野菜Ⅱ型            | ブロッコリー、アスパラ、白ねぎ、ほうれんそう、水稻 |
| 4   | 露地野菜Ⅲ型            | 白ねぎ                       |
| 5   | 露地、施設野菜・切花型       | ブロッコリー、すいか、ストック、水稻        |
| 6   | 切花・なし型            | 新てっぼうゆり、なし、水稻             |
| 7   | 施設花き（花壇苗）型        | パンジー、はばたん、プリムラ、ピンカ、水稻     |
| 8   | なし・稲型             | なし、水稻                     |
| 9   | なし・かき型            | なし、かき                     |
| 10  | ぶどう・稲型            | ぶどう、水稻                    |
| 11  | 乳用牛（フリーストール方式）型   | 乳用牛                       |
| 12  | 乳用牛（畑地酪農）型        | 乳用牛                       |
| 13  | 肉用牛（繁殖肥育一貫、黒毛和種）型 | 繁殖牛、肉用牛、水稻                |
| 14  | 肉用牛（肥育黒毛和種）型      | 肉用牛、水稻                    |
| 15  | 豚（繁殖肥育一貫）型        | 肉豚                        |
| 16  | 採卵鶏型              | 採卵鶏                       |
| 17  | 食鶏型               | 食鶏                        |
| 18  | しいたけ・施設野菜・稲型      | しいたけ、ほうれんそう、水稻            |

〈組織経営体：2 類型〉

| No. | 経営類型    | 作目               |
|-----|---------|------------------|
| 1   | 稲・麦・大豆型 | 水稻、二条大麦、大豆（平坦地）  |
| 2   | 稲・大豆型   | 水稻、大豆、作業受託（中山間地） |

### 第3 効率的かつ安定的な農業経営を育成するために必要な事項

#### 1 農業経営体等の育成

##### (1) 効率的かつ安定的な農業経営等の育成・確保

###### ア 個別経営体

経営規模の拡大や経営の多角化など農業経営の改善を計画的に進めようとする意欲ある農業者を認定し、当該農業者に対して農用地の利用集積その他の農業経営基盤の強化を促進するための支援措置を重点的に実施する。なお、法人化による経営管理能力の向上や円滑な後継者の確保、公的信用力の向上などの点から、これらの意欲ある農業者に対しては、必要に応じて法人化に向けた働きかけを行い、経営体質の強化及び持続的な経営発展に資するよう支援を行う。

また、法人経営にあつては、近年のIJUターン者を中心とした新規就農者等の雇用の受け皿としての役割も期待されることから、新規就農者等の受入れや継続雇用が円滑に進むよう、重点的な農地流動化による経営規模の拡大や経営の多角化支援等による経営強化を図る。

なお、農業経営改善計画認定制度の運用に当たり、家族農業経営において経営の多角化や新規部門拡大での女性農業者や農業後継者の果たす役割は大きいことから、実質的に共同経営者としての役割を担っている者がいる場合については農業経営改善計画の共同申請を推進することとし、また、認定された農業経営改善計画目標年に達した農業者については、目標に達している場合は、更にその経営の向上を目指すように誘導し、未達成の場合、その要因分析等を行って経営改善計画を見直し、再認定を推進する。

加えて、新規就農者の育成・確保に当たっては、農業後継者のみならず、IJUターンによる新規参入、他産業退職者等幅広い視点から希望者を受け入れるとともに、早期経営安定に向けた技術習得のための研修、農用地の確保、機械・施設整備や資金の確保支援等総合的な支援システムの確立を図る。

さらに、企業等の農業参入は、地域農業の活性化、農地の有効利用などが期待できるため、農業参入を検討するために必要な情報提供と助言、機械・施設整備等の支援を行う。

###### イ 組織経営体

中心となる農業経営の育成・確保が困難な地域においては、集落ぐるみの営農組織が地域農業の核として今後益々必要かつ重要となるため、地域の農業者の営農意欲やほ場整備状況等を下に見、集落に適した組織づくりを積極的に行う。その際、法人化計画を有し、共同販売経理を行うなど水田経営所得安定対策の対象となる集落営農組織のみならず、地域農業・農村を維持するため、農作業の受託や農業機械の共同利用など多様な形態による集落営農組織の育成を図る必要がある。

なお、中山間地域においては、中山間地域等直接支払交付金を活用し、集落協定の推進を図るとともに、営農組織の育成とその活動の強化が必要である。

また、組織づくりに当たっては、県、市町村、農業委員会等関係機関による指導体制の充実を図り、研修会による農業者への啓発や集落内の農業機械の再編整備等の指導を推進するとともに、こうした営農組織に対し、集落内の話し合いの場の設置や農業機械の導入、経営

内容の多角化について積極的に支援する。

#### ウ その他

中山間地の条件不利地等、担い手の不足する地域においては、農地保全のため、市町村や農業協同組合等が参画した第3セクターその他の農業サービス事業者といった農作業受託組織の設立を支援し、農作業受託や地域における新規就農者の研修・育成の場の提供を図る。

また、効率的かつ安定的な農業経営等の季節的な労力不足等を補うため、新たな農作業支援組織の設置を推進する。

#### (2) 支援体制の充実及び関係機関の連携

効率的かつ安定的な農業経営等を育成するため、各農業改良普及所等の支援体制を充実するとともに、担い手育成総合支援協議会、市町村、農業委員会、農業協同組合、財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構等の関係機関の連携の下に、地域の合意形成促進、経営管理能力及び技術の向上等の農業経営基盤強化のための支援を集中的に行う。

なお、支援に当たっては、自立経営を目指す経営体自らの創意工夫といった経営改善への意向を十分尊重するよう留意する。

## 2 農業経営基盤の強化の促進

#### (1) 農用地の流動化と集団化の推進

第1の3で示した効率的かつ安定的な農業経営を育成し、この経営への農用地利用集積目標の達成を図るためには、利用権設定等促進事業、農地保有合理化事業及び農地利用集積円滑化事業を柱とした農業経営基盤の強化を積極的に促進する必要がある。

具体的には、農地利用集積円滑化団体等の活動を軸として、農事実行組合などと一体で農地情報の収集・集約から農地の出し手・受け手のマッチングを行う仕組みや、中間保有農地等における研修機能を活用した新たな担い手育成を支援することで、円滑な農地流動化を推進することとする。

なお、各事業の促進に当たっては次の事項に留意し、効果的に運用する。

#### ア 利用権設定等促進事業

利用権設定等促進事業については、各地域の特性に即した営農類型における効率的かつ安定的な農業経営の育成と地域全体の農業の発展が促進されるよう適切な運用を図り、これら経営体への農用地の利用集積を農作業受委託も含めた形で推進する。この場合、農地の賃借料、農作業受託料金の適正化を図り、望ましい経営の発展に資するよう努める。

また、地域の実情に即して利用権設定等を中心とした農地の流動化を推進し、効率的かつ安定的な農業経営の育成とその経営規模の拡大を図る。

#### イ 農地保有合理化事業

農地保有合理化事業の実施に当たっては、各地域の特性を踏まえて、県段階及び市町村段階で十分な連携を図りながら、その地域に適した事業を主体に重点的、効果的な実施を図る。

特に、中間保有農地等での研修機能を活かした担い手の育成と農地の流動化との一体的な取組を積極的に推進する。

ウ 農用地利用改善事業

農用地利用改善事業については、地域における話し合いによる合意形成を通じ、効率的かつ安定的な農業経営への農用地の利用集積を進めるため、農用地利用改善団体の設立を推進する。

また、個別経営体が不足している地域の農用地利用改善団体にあつては、関係者の合意の下に、地区内農用地の受け手となり、その有効利用を図る組織経営体として特定農業法人及び特定農業団体の設立・育成を推進する。

エ その他の事業

委託を受けて行う農作業の実施を促進する事業、農業経営の改善を図るために必要な農業従事者の育成及び確保を促進する事業、その他農業経営基盤の強化を促進するために必要な事業については、各地域の特性を踏まえて、その地域に適した事業を主体に重点的、効果的な実施を図る。

オ 本県の区域を事業実施地域として農地保有合理化事業を行う法人に関する事項

本県の区域を事業実施地域として農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号。以下「法」という。）第4条第2項に定める農地保有合理化事業を行う法人は、財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構とし、農用地の中間保有、再分配機能を活用し、認定農業者等本県農業を支える農業者の経営基盤の強化を図るため、次に掲げる事業の範囲内において農地保有合理化事業を実施するものとする。

- (ア) 農用地等を買入れ、又は借り受けて、当該農用地を売り渡し、交換し、又は貸し付ける事業
- (イ) 農用地等を売り渡すことを目的とする信託の引き受けを行い、及び当該信託の委託者に対し当該農用地等の価格の一部に相当する金額の無利子貸付を行う事業
- (ウ) 農用地等を貸付けの方法により運用することを目的とする信託の引受けを行う事業
- (エ) 法第12条第1項の認定に係る農業経営改善計画に従って設立され、又は資本を増加しようとする農業生産法人に対し次に掲げるいずれかの出資を行い、及びその出資に伴い付与される持分又は株式を当該農業生産法人の組合員、社員又は株主に計画的に分割して譲渡する事業
  - a 農地売買等事業により買入れた農用地等の現物出資
  - b (ア)から(ウ)までに掲げる事業により売り渡し、交換し、若しくは貸し付けた農用地等又はaの現物出資に係る農用地等を利用して当該農業生産法人が行う農業経営の改善に必要な資金の出資
- (オ) 農地売買等事業により買入れ、又は借り受けた農用地等を利用して新たに農業経営を営もうとする者が農業の技術又は経営方法を実地に習得するための研修その他の事業

カ 農地利用集積円滑化事業の実施に関する基本的な事項

県は、農地の利用集積を促進するため、農業経営基盤強化促進法第4条第3項に定める農地利用集積円滑化事業の促進のために必要な措置を講ずるものとし、本事業の積極的な推進を図る。

農地利用集積円滑化事業の実施に当たっては、事業の円滑な推進のため、県内の関係機関・団体と相互に十分な連携を図ることとする。

また、農地利用集積円滑化事業の実施を支援するため、市町村及び財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構を始めとした関係機関・団体と連携し、農地利用集積円滑化団体に対する助言や情報提供等を行うとともに、本事業の円滑な実施を支援していくための諸施策を実施する。

(ア) 農地情報の集約への支援

効率的かつ安定的な農業経営に対する農地の利用集積を実現するためには、農地利用集積円滑化団体が地域の農地の出し手・受け手等の情報を把握した上で、その有効利用について検討する必要がある。

そのため、農地利用集積円滑化団体が集落組織等と一体となって行う農地情報の集約化を支援するための措置を講ずる。

(イ) コーディネーターへの支援

上記(ア)により集約した情報等をもとに、農地の出し手・受け手の間の調整を行う者(コーディネーター)に対して、当該活動による農地の流動化を促進するための措置を講ずる。

(ウ) 農地の受け手への支援

効率的かつ安定的な農業経営等が更なる経営発展を目指して規模拡大を行う場合について、その取組の円滑な実施を促進するため、取組当初の負担軽減や農業用機械・施設の整備等を支援するための措置を講ずる。

(2) 優良農用地の確保と基盤整備の促進

ア 農業振興を図る区域においては、農業振興地域の整備に関する法律(昭和44年法律第58号)等の関係法令に準拠しながら、優良農用地の確保と計画的な整備を進める。

イ 地域の実情にあった規模のほ場の区画化の推進と併せて集団化した農用地の利用条件の改善を推進するため、基盤整備事業の積極的な導入、集落農地の効率的利用のための土地利用調整の推進、換地を契機とした利用権の設定、農作業受委託等の総合的推進等により地域農業を支える効率的かつ安定的な農業経営への農用地の利用集積を促進する。

ウ 平坦地域の水田においては、農用地流動化と連携した大区画ほ場(1ha以上)の整備を、中山間地域では地形条件に合わせた基盤整備を推進し、水田の汎用化を図るため、排水対策等の整備に努める。

また、畑地においては、かんがい施設や農道網等の生産基盤の整備を総合的に行う。

附 則

- 1 この基本方針は、平成6年1月21日制定
- 2 平成12年12月27日改正
- 3 平成17年 9月27日改正
- 4 平成18年 2月20日改正
- 5 平成22年 3月 9日改正

経営モデル類型 【個別経営体】  
 モデル類型1 稲・大豆型 (適用地域：県全域)

1 モデルの特徴 県全域を適用地域とし、転作を大豆で実施し、水稲、大豆の経営に加えて、それぞれの作業受託を組み合わせさせた経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数 | 作目名                      | 生産規模                              | 目標生産量                  | 労働時間<br>(時間)  | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|---------------|--------------------------|-----------------------------------|------------------------|---|--------------|----|
| 水田 15.0ha     | 水稲<br>大豆<br>受託水稲<br>受託大豆 | 10.0ha<br>5.0ha<br>8.0ha<br>3.0ha | 494kg/10a<br>250kg/10a | 総労働時間<br>3,498<br><br>雇用労働時間<br>348<br><br>1人当たり<br>労働時間<br>1,260 | 2.5          |    |

3 固定資産

| 機械・施設名   | 規格・能力             | 台数・面積             | 取得価額       |
|----------|-------------------|-------------------|------------|
| 作業場      | 鉄骨造               | 300m <sup>2</sup> | 17,010,000 |
| 育苗用ハウス   | 300m <sup>2</sup> | 1棟                | 1,834,000  |
| トラクタ     | 30ps・4WD          | 2台                | 6,073,200  |
| ブロードキャスト | 3000              | 1台                | 266,700    |
| ロータリ     | 1.8m              | 1台                | 684,600    |
| ドライブハロ   | 2.6m              | 1台                | 562,800    |
| あぜ塗り機    | 乾湿兼用              | 1台                | 582,750    |
| 播種機      | 180箱/h            | 1台                | 153,300    |
| 蒸気育苗器    | 240箱              | 3台                | 636,300    |
| 灌水装置     | 一式                | 1台                | 177,000    |
| 乗用型田植機   | 側条5条              | 1台                | 1,484,700  |
| 動力散布機    | 260kg             | 1台                | 110,250    |
| 草刈り機     | 1.7ps             | 2台                | 121,800    |
| 自脱型コンバイン | 4条・30ps           | 1台                | 5,191,200  |
| 穀物乾燥機    | 3t循環式             | 2台                | 2,286,900  |
| 籾すり機     | 万石式               | 1台                | 488,250    |
| 穀物計量機    | 1t/h              | 1台                | 290,850    |
| 大豆播種機    | 4条・30ps           | 1台                | 462,000    |
| ロータリーカルチ | 3条                | 1台                | 735,000    |
| 大豆コンバイン  | 2条                | 1台                | 5,302,500  |
| トレンチャ    | オガー式              | 1台                | 509,250    |
| サブソイラ    | 振動式               | 1台                | 296,100    |
| 普通トラック   | 1t                | 1台                | 1,730,000  |
| 軽トラック    | 4WD 660cc         | 1台                | 950,000    |

4 経営管理の方法等

【経営管理の方法】  
 ・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。

・家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。

【農業従事の態様】  
 ・農繁期における臨時雇用の確保により、過重労働を防止する。

・必要に応じて、水管理等を委託者に再委託するなど適切な栽培管理が実施できるように配慮する。

【生産方式】  
 ・水稲品種、大豆品種の組み合わせに配慮して、作期の分散を図り、作業の集中を避ける。

・播種から乾燥調製にいたる一連の機械施設を整備し、効率的な活用を行う。  
 (大豆乾燥は委託)

経営モデル類型 【個別経営体】  
 モデル類型 2 露地野菜 I 型 (適用地域：県全域)

1 モデルの特徴 県全域砂地を適用地域とし、露地野菜(らっきょう)を基幹とした経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数       | 作目名         | 生産規模           | 目標生産量                    | 労働時間<br>(時間)  | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|---------------------|-------------|----------------|--------------------------|---|--------------|----|
| 水田 0.5ha<br>畑 2.0ha | らっきょう<br>水稲 | 2.0ha<br>0.5ha | 1,400kg/10a<br>540kg/10a | 総労働時間<br>5,349<br><br>雇用労働時間<br>3,135<br><br>1人当たり<br>労働時間<br>738 | 3.0          |    |

3 固定資産

| 機械・施設名   | 規格・能力     | 台数・面積 | 取得価額      |
|----------|-----------|-------|-----------|
| 作業場兼格納庫  | 木造・瓦      | 50㎡   | 3,150,000 |
| トラクタ     | 25ps      | 1台    | 2,016,000 |
| トラクタ     | 30ps      | 1台    | 3,036,600 |
| ロータリ     | 160cm     | 1台    | 400,050   |
| 土壌消毒機    | 6条        | 1台    | 317,100   |
| 掘り取り機    | 7条        | 1台    | 808,500   |
| ハンマーモア   | 7ps       | 1台    | 372,000   |
| 集草機      | 7ps       | 1台    | 367,000   |
| 動力噴霧機    | 可搬式6ps    | 1台    | 241,500   |
| 運搬車      | 5ps 500kg | 1台    | 424,200   |
| 乗用田植機    | 側条4条植     | 0.1台  | 120,225   |
| 動力散布機    | 20ℓ       | 1台    | 110,250   |
| 草刈り機     | 1.7ps     | 1台    | 60,900    |
| 自脱型コンバイン | 3条刈       | 0.1台  | 272,388   |
| 播種機      | 100箱/時    | 0.1台  | 9,975     |
| 普通トラック   | 1t        | 1台    | 1,730,000 |
| 軽トラック    | 660cc     | 1台    | 950,000   |

4 経営管理の方法等

|  |
|--|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> </ul> <p>【農業従事の態様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農繁期における臨時雇用の確保により、過重労働を防止する。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出荷は共同選果場を利用する。</li> <li>出荷量の内、70%は根付き、30%は洗いとする。</li> </ul> |
|--|

経営モデル類型 【個別経営体】  
 モデル類型3 露地野菜Ⅱ型 (適用地域：県全域)

1. モデルの特徴 県全域を適用地域とし、水田転作の露地野菜と水稻を組み合わせた複合経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数 | 作目名          | 生産規模  | 目標生産量       | 労働時間<br>(時間)           | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|---------------|--------------|-------|-------------|------------------------|--------------|----|
| 水田 1.8ha      | 初夏ブロッコリー     | 0.5ha | 900kg/10a   | 総労働時間<br>4,284         | 3.0          |    |
|               | 秋冬ブロッコリー     | 1.0ha | 900kg/10a   |                        |              |    |
|               | アムスメロン(トンネル) | 0.5ha | 2,400kg/10a | 雇用労働時間<br>350          |              |    |
|               | 白ねぎ(秋冬)      | 0.3ha | 3,300kg/10a |                        |              |    |
|               | 水稻           | 0.5ha | 540kg/10a   |                        |              |    |
|               |              |       |             | 1人当たり<br>労働時間<br>1,311 |              |    |

3 固定資産

| 機械・施設名     | 規格・能力       | 台数・面積 | 取得価額      |
|------------|-------------|-------|-----------|
| 作業場・農具舎    | 木・瓦         | 50㎡   | 3,150,000 |
| 育苗ハウス      | 6m×40m      | 1棟    | 1,107,200 |
| トラクタ       | 25ps 4WD    | 1台    | 2,016,000 |
| ロータリ       | 160cm       | 1台    | 400,050   |
| 管理機        | 3.5ps       | 1台    | 194,250   |
| 土壌消毒機(牽引式) | 4ps, 2条     | 1台    | 163,800   |
| フロントキャスタ   | 300ℓ        | 1台    | 266,700   |
| 動力噴霧機      | 可搬式6ps      | 1台    | 241,500   |
| 土寄機        | 6.0ps       | 1台    | 304,500   |
| 掘取用管理機     | 3.5ps       | 1台    | 194,250   |
| 皮むき機一式     | 1セット(3相電動式) | 1台    | 449,400   |
| 結束機        | 電動式         | 1台    | 200,000   |
| 乗用田植機      | 側条4条植       | 0.1台  | 120,225   |
| 動力散布機      | 20ℓ         | 1台    | 110,250   |
| 草刈り機       | 1.7ps       | 1台    | 60,900    |
| 自脱型コンバイン   | 3条刈         | 0.1台  | 272,388   |
| 播種機        | 100箱/h      | 0.1台  | 9,975     |
| 軽トラック      | 660cc       | 1台    | 950,000   |

4 経営管理の方法等

|   |
|---|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> </ul> <p>【農業従事の態様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農繁期における臨時雇用の確保により、過重労働を防止する。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初夏ブロッコリーとアムスメロンの後作に、秋冬ブロッコリーを栽培する。</li> <li>白ねぎは、3年以上同一ほ場で連作しないようにする。</li> </ul> |
|---|

経営モデル類型 【個別経営体】  
 モデル類型4 露地野菜Ⅲ型

(適用地域：県全域)

1 モデルの特徴 県全域砂地を適用地域とし、露地野菜（白ねぎ）専作の経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数 | 作目名     | 生産規模        | 目標生産量                  | 労働時間<br>(時間)   | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|---------------|---------|-------------|------------------------|----------------|--------------|----|
| 畑 1.0ha       | 夏(トンネル) | 0.15ha      | 3,600kg/10a            | 総労働時間<br>5,307 | 2.5          |    |
|               | 夏(普通)   | 0.20ha      | 3,000kg/10a            |                |              |    |
|               | 秋冬普通    | 0.20ha      | 3,150kg/10a            | 雇用労働時間<br>742  |              |    |
|               | 秋冬遅出し   | 0.20ha      | 3,300kg/10a            |                |              |    |
|               | 春1本     | 0.10ha      | 3,600kg/10a            |                |              |    |
| 春坊主           | 0.15ha  | 4,500kg/10a | 1人当たり<br>労働時間<br>1,826 |                |              |    |

3 固定資産

| 機械・施設名   | 規格・能力     | 台数・面積 | 取得価額      |
|----------|-----------|-------|-----------|
| 作業場      | 木・瓦       | 30㎡   | 1,890,000 |
| 収納庫(車庫)  | 木・瓦       | 30㎡   | 1,890,000 |
| 育苗用ハウス   | 100㎡      | 1棟    | 300,000   |
| トラクタ     | 4WD, 25ps | 1台    | 2,016,000 |
| ロータリ     | 160cm幅    | 1台    | 400,050   |
| 管理機      | 6ps       | 1台    | 304,500   |
| 管理機(掘取り) | 3.5ps     | 1台    | 194,250   |
| 皮むき機一式   | 1t(3相電動式) | 1式    | 449,400   |
| 定植機      |           | 1台    | 70,000    |
| 動力噴霧機    | 6ps       | 1台    | 241,500   |
| エンジンポンプ  | 1t        | 1式    | 180,765   |
| ねぎ結束機    | 電動式       | 1台    | 200,000   |
| 水稻発芽機    |           | 1台    | 100,000   |
| エアコン     | 配線込み      | 1台    | 150,000   |
| 普通トラック   | 1t        | 1台    | 1,730,000 |
| 軽トラック    | 660cc     | 1台    | 950,000   |

4 経営管理の方法等

【経営管理の方法】  
 ・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。

・家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。

【農業従事の態様】  
 ・農繁期における臨時雇用の確保により、過重労働を防止する。

【生産方式】  
 ・各作型を組み合わせて、周年出荷体制で栽培を行う。

経営モデル類型

【個別経営体】

モデル類型 5

露地、施設野菜・切花型

(適用地域：県全域)

1 モデルの特徴 県全域中平坦地を適用地域とし、水田転作のスイカ生産に切花生産を加え、収益の向上と、労力の分散を図る複合経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数 | 作目名         | 生産規模  | 目標生産量       | 労働時間<br>(時間)           | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|---------------|-------------|-------|-------------|------------------------|--------------|----|
| 水田 0.8ha      | ブロッコリー      | 0.5ha | 900kg/10a   | 総労働時間                  | 2.5          |    |
| 畑 1.2ha       | すいか(大型トンネル) | 0.6ha | 5,200kg/10a | 4,899                  |              |    |
|               | すいか(中型トンネル) | 0.6ha | 5,100kg/10a | 雇用労働時間                 |              |    |
|               | ストック        | 0.2ha | 30,000本/10a | 363                    |              |    |
|               | すいか(ハウス)    | 0.3ha | 5,200kg/10a |                        |              |    |
|               | ほうれんそう      | 0.1ha | 2,400kg/10a |                        |              |    |
|               | 水稲          | 0.5ha | 540kg/10a   |                        |              |    |
|               |             |       |             | 1人当たり<br>労働時間<br>1,815 |              |    |

3 固定資産

| 機械・施設名   | 規格・能力  | 台数・面積 | 取得価額       |
|----------|--------|-------|------------|
| 作業舎兼収納舎  | 木造・瓦   | 50㎡   | 3,150,000  |
| ビニールハウス  | 6m×50m | 10棟   | 13,840,000 |
| トラクタ     | 4WD    | 1台    | 2,016,000  |
| ロータリ     | 160cm  | 1台    | 400,050    |
| 動力噴霧機    | 可搬式6ps | 1台    | 241,500    |
| 管理機      | 3.5ps  | 1台    | 194,250    |
| 灌水装置     | チューブ式  | 1式    | 177,000    |
| 土壌消毒機    | 6条     | 1台    | 317,100    |
| プロトキヤタ   |        | 1台    | 266,700    |
| 運搬車      |        | 1台    | 424,200    |
| マルチはぎとり機 |        | 0.5台  | 129,000    |
| 乗用田植機    | 側条4条植  | 0.1台  | 120,225    |
| 動力散布機    | 20ℓ    | 1台    | 110,250    |
| 草刈り機     | 1.7ps  | 1台    | 60,900     |
| 自脱型コンバイン | 3条刈    | 0.1台  | 272,388    |
| 播種機      | 100箱/h | 0.1台  | 9,975      |
| 普通トラック   | 1.5t   | 1台    | 2,410,000  |
| 軽トラック    | 660cc  | 1台    | 950,000    |

4 経営管理の方法等

|  |
|--|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> </ul> <p>【農業従事の態様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農繁期における臨時雇用の確保により、過重労働を防止する。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すいか(トンネル栽培)の後作にブロッコリーを作付する体系とする。</li> <li>すいか(ハウス栽培)の後作にほうれんそうとストックを作付する体系とする。</li> </ul> |
|--|

経営モデル類型 【個別経営体】

モデル類型 6

切花・なし型

(適用地域：県全域)

1 モデルの特徴 県全域中平地を適用地域とし、なし経営に水田転作による切花生産を加え、収益の向上と、労力の分散を図る複合経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数 | 作目名     | 生産規模   | 目標生産量       | 労働時間<br>(時間)  | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|---------------|---------|--------|-------------|---------------|--------------|----|
| 水田 0.7ha      | 新てっぼうゆり | 0.2ha  | 28,000本/10a | 総労働時間         | 2.5          |    |
|               | ほうれんそう  | 0.03ha | 2,400kg/10a | 4,440         |              |    |
| 樹園地 0.8ha     | ゴールデン世紀 | 0.5ha  | 4,500kg/10a | 雇用労働時間        |              |    |
|               | 幸水      | 0.3ha  | 3,000kg/10a | 388           |              |    |
|               | 水稻      | 0.5ha  | 540kg/10a   |               |              |    |
|               |         |        |             | 1人当たり<br>労働時間 |              |    |
|               |         |        |             | 1,621         |              |    |

3 固定資産

| 機械・施設名   | 規格・能力     | 台数・面積 | 取得価額      |
|----------|-----------|-------|-----------|
| 作業場兼収納舎  | 木造・瓦      | 50㎡   | 3,150,000 |
| ビニールハウス  | 6m×25m    | 1棟    | 692,000   |
| 農機具格納庫   | 鉄骨        | 5.7㎡  | 360,000   |
| 揚水ポンプ舎   | 鉄骨        | 0.7㎡  | 40,500    |
| 給水パイプ    |           | 800m  | 1,504,000 |
| 貯水槽      | コンクリート    | 1.4㎡  | 81,780    |
| なし棚      | 鉄柱鉄線      | 80a   | 3,600,240 |
| 多目的防災網施設 | 鉄柱鉄線      | 30a   | 2,700,000 |
| 網        | 5mm       | 30a   | 900,000   |
| トラクタ     | 4WD 25ps  | 1台    | 2,016,000 |
| ロータリ     | 160cm     | 1台    | 400,050   |
| 動力噴霧機    | 可搬式6ps    | 1台    | 241,500   |
| 管理機      | 3.5ps     | 1台    | 194,250   |
| かん水装置    | チューブ式     | 1式    | 177,000   |
| トンチヤ     | 7psチェーン式  | 0.1台  | 109,368   |
| スピードスプレー | 1,000ℓ    | 0.1台  | 882,000   |
| 揚水ポンプ    | 50mm      | 0.1台  | 69,678    |
| ローリーモア   | 自走6ps     | 1台    | 264,600   |
| 動力運搬車    | 5ps 500kg | 1台    | 424,200   |
| 乗用田植機    | 側条4条植     | 0.1台  | 120,225   |
| 動力散布機    | 20ℓ       | 1台    | 110,250   |
| 草刈り機     | 1.7ps     | 1台    | 60,900    |
| 自脱型コンバイン | 3条刈       | 0.1台  | 272,388   |
| 播種機      | 100箱/時    | 0.1台  | 9,975     |
| 軽トラック    | 660cc     | 1台    | 950,000   |
| なし樹      | ゴールデン世紀   | 50a   | 928,360   |
| なし樹      | 幸水        | 30a   | 635,238   |

4 経営管理の方法等

|   |
|---|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> </ul> <p>【農業従事の態様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農繁期における臨時雇用の確保により、過重労働を防止する。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出荷は共同選果場を利用する。</li> <li>幸水は無袋栽培とし、省力化を図る。</li> </ul> |
|---|

経営モデル類型 【個別経営体】  
 モデル類型 7 施設花き（花壇苗）型 （適用地域：県全域）

1 モデルの特徴 県全域中平地を適用地域とし、水田転作による施設花き（花壇苗）に水稻を加えた複合経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 家畜頭羽数    | 作目名  | 生産規模  | 目標生産量                      | 労働時間<br>(時間)           | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|----------|------|-------|----------------------------|------------------------|--------------|----|
| 水田 0.8ha | パンジー | 0.2ha | 65,000本 <sup>*</sup> ツ/10a | 総労働時間<br>5,726         | 3.0          |    |
|          | はばたん | 0.1ha | 51,000本 <sup>*</sup> ツ/10a |                        |              |    |
|          | プリムラ | 0.1ha | 50,000本 <sup>*</sup> ツ/10a | 雇用労働時間<br>551          |              |    |
|          | ピンカ  | 0.2ha | 70,000本 <sup>*</sup> ツ/10a |                        |              |    |
|          | 水稻   | 0.5ha | 540kg/10a                  |                        |              |    |
|          |      |       |                            | 1人当たり<br>労働時間<br>1,725 |              |    |

3 固定資産

| 機械・施設名   | 規格・能力            | 台数・面積            | 取得価額       |
|----------|------------------|------------------|------------|
| 作業舎      | 26m <sup>2</sup> | 40m <sup>2</sup> | 2,520,000  |
| ビニールハウス  | 6m×50m           | 8棟               | 11,072,000 |
| トラクタ     | 20ps             | 1台               | 1,645,350  |
| ロータリ     | 140cm            | 1台               | 321,300    |
| フロントローダ  |                  | 1台               | 700,000    |
| ソイルミキサ   |                  | 1台               | 640,000    |
| ベルトコンベア  |                  | 1台               | 672,000    |
| 温風暖房機    | 20000kcal/h      | 4台               | 1,138,200  |
| 動力噴霧機    | 可搬式6ps           | 1台               | 241,500    |
| かん水ポンプ   | 2.2ps            | 1台               | 177,000    |
| 背負式動力噴霧機 | 1.2ps            | 1台               | 64,575     |
| 真空播種機    |                  | 1台               | 328,000    |
| 乗用型田植機   | 側条4条植            | 0.2台             | 240,450    |
| 動力散布機    | 20ℓ              | 1台               | 110,250    |
| 草刈り機     | 1.7ps            | 1台               | 60,900     |
| 自脱型コンバイン | 3条刈              | 0.2台             | 544,775    |
| 播種機      | 100箱/h           | 0.2台             | 19,950     |
| 普通トラック   | 1t               | 1台               | 1,730,000  |

4 経営管理の方法等

|   |
|---|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>・家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> </ul> <p>【農業従事の態様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農繁期における臨時雇用の確保により、過重労働を防止する。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンジーは多くの花色を栽培し、色あわせを上手に行う。</li> <li>・はばたんは露地で栽培し、出荷時に必要に応じてハウスに入れる。</li> </ul> |
|---|

経営モデル類型 【個別経営体】

モデル類型 8 なし・稲型 (適用地域：県全域)

1 モデルの特徴 県全域平坦地の水田と樹園地がある地帯を適用地域とし、水田転作による樹園地の拡大と施設化による労力分散を図る果樹栽培を基幹とし、水稻を加えた複合経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数 | 作目名         | 生産規模  | 目標生産量       | 労働時間<br>(時間)           | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|---------------|-------------|-------|-------------|------------------------|--------------|----|
| 水田 1.0ha      | ゴールド二十世紀    | 0.3ha | 4,500kg/10a | 総労働時間<br>4,252         | 2.5          |    |
|               | ゴールド二十世紀ハウス | 0.2ha | 4,500kg/10a |                        |              |    |
| 樹園地 1.0ha     | 幸水          | 0.2ha | 3,000kg/10a | 雇用労働時間<br>307          |              |    |
|               | 豊水          | 0.2ha | 4,000kg/10a |                        |              |    |
|               | 新興          | 0.1ha | 4,000kg/10a |                        |              |    |
|               | 水稻          | 1.0ha | 540kg/10a   |                        |              |    |
|               |             |       |             | 1人当たり<br>労働時間<br>1,578 |              |    |

3 固定資産

| 機械・施設名   | 規格・能力     | 台数・面積             | 取得価額      |
|----------|-----------|-------------------|-----------|
| 作業場      | 木造        | 50m <sup>2</sup>  | 3,150,000 |
| 農機具格納庫   | 鉄骨        | 5.7m <sup>2</sup> | 360,000   |
| 揚水ポンプ舎   | 鉄骨        | 0.7m <sup>2</sup> | 40,500    |
| 給水パイプ    |           | 800m              | 1,504,000 |
| 貯水槽      | コンクリート    | 1.4m <sup>3</sup> | 81,780    |
| なし棚      | 鉄柱鉄線      | 100a              | 4,500,300 |
| 大型ハウス    | パイプ       | 20a               | 4,800,000 |
| 多目的防災網施設 | 鉄柱鉄線      | 40a               | 3,600,000 |
| 網        | 5mm       | 40a               | 1,200,000 |
| -----    |           |                   |           |
| トラクタ     | 25ps      | 0.5台              | 1,008,000 |
| ロータリ     | 160cm     | 0.5台              | 200,025   |
| トレンチャ    | 7ps フロン式  | 0.1台              | 109,368   |
| スピードスプレー | 1,000ℓ    | 0.1台              | 882,000   |
| 揚水ポンプ    | 50mm      | 0.1台              | 69,678    |
| ローリーモア   | 自走6ps     | 1台                | 264,600   |
| 動力運搬車    | 5ps 500kg | 1台                | 424,200   |
| 簡易加温機    | ダクト式      | 1台                | 968,100   |
| 乗用田植機    | 側条4条植     | 0.1台              | 120,225   |
| 動力散布機    | 20ℓ       | 1台                | 110,250   |
| 草刈り機     | 1.7ps     | 1台                | 60,900    |
| 自脱型コンバイン | 3条刈       | 0.1台              | 272,388   |
| 播種機      | 100箱/h    | 0.1台              | 9,975     |
| -----    |           |                   |           |
| 軽トラック    | 660cc     | 1台                | 950,000   |
| なし樹      | ゴールド二十世紀  | 50a               | 928,360   |
| なし樹      | 幸水        | 20a               | 477,892   |
| なし樹      | 豊水        | 20a               | 411,128   |
| なし樹      | 新興        | 10a               | 239,159   |

4 経営管理の方法等

|   |
|---|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>・家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> </ul> <p>【農業従事の態様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なしの受粉、摘果作業は臨時雇用者の確保により、適期に実施するとともに、過重労働を防止する。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールド二十世紀への改植とハウス化により、収益性の向上と省力化、労働分散化を図る。</li> <li>・幸水、豊水は無袋栽培とし、省力化を図る。</li> </ul> |
|---|

経営モデル類型 【個別経営体】  
 モデル類型9 なし・かき型 (適用地域：県全域)

1 モデルの特徴 県全域中山間地の水田と傾斜地の樹園地がある地帯を適用地域とし、水田転作による樹園地の拡大による規模拡大を図り、果樹栽培を基幹とした果樹専作経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数 | 作目名      | 生産規模  | 目標生産量       | 労働時間<br>(時間)           | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|---------------|----------|-------|-------------|------------------------|--------------|----|
| 水田 0.6ha      | ゴールド二十世紀 | 0.4ha | 4,500kg/10a | 総労働時間<br>4,519         | 2.5          |    |
|               | 幸水       | 0.2ha | 3,000kg/10a |                        |              |    |
| 樹園地 0.9ha     | 豊水       | 0.2ha | 4,000kg/10a | 雇用労働時間<br>248          |              |    |
|               | 新興       | 0.1ha | 4,000kg/10a |                        |              |    |
|               | 富有       | 0.3ha | 2,200kg/10a |                        |              |    |
|               | 西条       | 0.3ha | 2,000kg/10a |                        |              |    |
|               |          |       |             | 1人当たり<br>労働時間<br>1,708 |              |    |

3 固定資産

| 機械・施設名   | 規格・能力     | 台数・面積  | 取得価額      |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 作業場      | 木造        | 50㎡    | 3,150,000 |
| 薬剤槽      | コンクリート    | 5㎡     | 298,305   |
| 貯水槽      | コンクリート    | 10㎡    | 572,460   |
| ポンプ舎     | 鉄骨スレート    | 5㎡     | 283,500   |
| 定置配管パイプ  | 塩ビ管20mm   | 400m   | 752,000   |
| 農機具格納庫   | 鉄骨スレート    | 5.7㎡   | 360,000   |
| 揚水ポンプ舎   | 鉄骨        | 0.7㎡   | 40,500    |
| 給水パイプ    |           | 266.7m | 501,333   |
| 貯水槽      | コンクリート    | 1.4㎡   | 81,780    |
| なし棚      | 鉄柱鉄線      | 90a    | 4,050,270 |
| モノレール軌道  | 300m      | 1式     | 1,771,875 |
| 多目的防災網施設 | 鉄柱鉄線      | 40a    | 3,600,000 |
| 網        | 5mm       | 40a    | 1,200,000 |
| 定置配管防除機  | 7ps       | 1台     | 163,800   |
| 動力運搬車    | 5ps 500kg | 1台     | 404,000   |
| 刈払い機     | 1.2ps     | 1台     | 68,250    |
| モノレール運搬機 | 4ps       | 1台     | 362,250   |
| スプレー     | 1,000ℓ    | 0.1台   | 900,000   |
| 揚水ポンプ    | 50mm      | 0.1台   | 23,700    |
| ロータリー    | 自走6ps     | 1台     | 264,600   |
| トラクタ     | 25ps      | 0.5台   | 1,008,000 |
| ロータリ     | 160cm     | 0.5台   | 200,025   |
| トレンチャ    | 7ps チェーン式 | 0.1台   | 109,368   |
| 草刈り機     | 1.7ps     | 1台     | 60,900    |
| 軽トラック    | 660cc     | 1台     | 950,000   |
| かき樹      | 富有        | 30a    | 376,050   |
| かき樹      | 西条        | 30a    | 440,418   |
| なし樹      | ゴールド二十世紀  | 40a    | 742,688   |
| なし樹      | 幸水        | 20a    | 423,492   |
| なし樹      | 豊水        | 20a    | 411,120   |
| なし樹      | 新興        | 10a    | 239,160   |

4 経営管理の方法等

|  |
|--|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>・家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> </ul> <p>【農業従事の態様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なしの受粉、摘果作業は臨時雇用者の確保により、適期に実施するとともに、過重労働を防止する。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水田転換により、なしを植栽する。</li> <li>・幸水、豊水は無袋栽培とし、省力化を図る。</li> </ul> |
|--|

経営モデル類型 【個別経営体】

モデル類型 10

ぶどう・稲型

(適用地域：県全域)

1 モデルの特徴 県全域平坦地の砂丘畑と水田がある地帯を適用地域とし、労力分散を図るため、品種を組み合わせたぶどうを基幹に、水稻を加えた果樹と水稻の複合経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数 | 作目名        | 生産規模  | 目標生産量       | 労働時間<br>(時間)           | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|---------------|------------|-------|-------------|------------------------|--------------|----|
| 水田 1.0ha      | 無加温デラウェア   | 0.2ha | 1,500kg/10a | 総労働時間<br>4,199         | 2.5          |    |
|               | 無加温巨峰      | 0.1ha | 1,300kg/10a |                        |              |    |
| 樹園地 0.9ha     | 無加温ビオーネ    | 0.4ha | 1,500kg/10a | 雇用労働時間<br>188          |              |    |
|               | 無加温サザリビアンコ | 0.2ha | 1,600kg/10a |                        |              |    |
|               | 水稻         | 1.0ha | 540kg/10a   |                        |              |    |
|               |            |       |             | 1人当たり<br>労働時間<br>1,605 |              |    |

3 固定資産

| 機械・施設名   | 規格・能力   | 台数・面積 | 取得価額       |
|----------|---------|-------|------------|
| 作業場      | 木造瓦葺    | 50㎡   | 3,150,000  |
| ぶどう棚     | 鉄柱鉄線    | 90a   | 4,913,055  |
| 大型ハウス    | 鉄パイプ    | 90a   | 15,120,000 |
| 動力運搬車    | 乗用型     | 1台    | 424,200    |
| 動力噴霧機    | 6ps     | 1台    | 241,500    |
| トラクタ     | 20ps    | 0.3台  | 492,100    |
| ロータリ     | 140cm   | 0.3台  | 107,100    |
| 乗用型田植機   | 側条4条植   | 0.2台  | 240,450    |
| 動力散布機    | 20ℓ     | 1台    | 110,250    |
| 草刈り機     | 1.7ps   | 1台    | 60,900     |
| 自脱型コンバイン | 3条刈     | 0.2台  | 544,775    |
| 播種機      | 100箱/時  | 0.2台  | 19,950     |
| 軽トラック    | 660cc   | 1台    | 950,000    |
| ぶどう樹     | 巨峰      | 10a   | 152,283    |
| ぶどう樹     | ビオーネ    | 40a   | 609,132    |
| ぶどう樹     | デラウェア   | 20a   | 304,566    |
| ぶどう樹     | サザリビアンコ | 20a   | 304,566    |

4 経営管理の方法等

|   |
|---|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複式簿記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> <li>【農業従事の態様】</li> <li>農繁期においては臨時雇用者の確保により、過重労働を防止する。</li> <li>ハウスのビニール被覆は、3戸程度の共同作業で実施する。</li> <li>【生産方式】</li> <li>品種組み合わせにより、労力分散を図る。</li> </ul> |
|---|

経営モデル類型 【個別経営体】

モデル類型 1 1 乳用牛(酪農フリーストール方式) 型

(適用地域: 県全域)

1 モデルの特徴 県全域を適用地域とし、フリーストール方式による酪農経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数                  | 作目名 | 生産規模 | 目標生産量           | 労働時間<br>(時間)  | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|--------------------------------|-----|------|-----------------|---|--------------|----|
| 畑 8.0ha<br>経産牛 100頭<br>育成牛 60頭 | 乳用牛 | 100頭 | 生乳<br>855,000kg | 総労働時間<br>6,024<br>雇用労働時間<br>309<br>1人当たり<br>労働時間<br>1,905 | 3.0          |    |

3 固定資産

| 機械・施設名       | 規格・能力       | 台数・面積  | 取得価額       |
|--------------|-------------|--------|------------|
| フリーストール牛舎    | 鉄骨, スレート    | 1,500㎡ | 45,000,000 |
| ミルクパルパー舎     | 鉄骨, スレート    | 300㎡   | 17,100,000 |
| 育成牛舎         | 鉄骨, スレート    | 500㎡   | 15,000,000 |
| 管理事務所        | 鉄骨, スレート    | 40㎡    | 2,280,000  |
| 飼料倉庫         | 鉄骨, スレート    | 400㎡   | 12,000,000 |
| 農具舎          | 鉄骨, スレート    | 400㎡   | 4,000,000  |
| 堆肥舎(ストックヤード) | 木造, スレート    | 600㎡   | 6,000,000  |
| 攪拌式堆肥化施設     | 6×70m, 90cm | 420㎡   | 21,000,000 |
| バンカーサイロ      | コンクリート, 鉄骨組 | 6基     | 3,000,000  |
| ボリング井戸施設     | 一式          | 1式     | 3,000,000  |
| 送風ファン        | 0.4kw       | 1台     | 1,920,000  |
| ミルカーユニット     | ボリングボーン     | 1台     | 15,000,000 |
| パルカー         | 3t          | 1台     | 5,640,000  |
| ボイラー施設       | 8,000kcal   | 1台     | 920,000    |
| トラクタ         | 80ps, 4WD   | 1台     | 6,431,000  |
| 〃            | 80ps, 4WD   | 0.2台   | 257,240    |
| コンクリートフィーダ   | 8㎡          | 1台     | 6,000,000  |
| フォークリフト      | 2t          | 1台     | 2,500,000  |
| マニュアルレッカ     | 4t          | 0.2台   | 79,400     |
| リハーフアルブラ     | 20インチ×3連    | 0.2台   | 52,200     |
| プロトキヤスタ      | 800kg       | 0.2台   | 18,880     |
| ロータリ         | 240cm       | 0.2台   | 53,600     |
| コンブランタ       | 4条          | 0.2台   | 31,920     |
| R型ローラ        | 250cm       | 0.2台   | 43,200     |
| ブームスプレイヤ     | 1,100ℓ      | 0.2台   | 75,200     |
| コンハーベスタ      | 2条          | 0.2台   | 159,200    |
| ダンプリコン       | 4㎡          | 0.2台   | 59,600     |
| ショベルローダ      | 42ps        | 1台     | 3,800,000  |
| フロントローダ      |             | 0.2台   | 32,000     |
| 高圧ポンプ        | 2kw         | 1台     | 250,000    |
| パソコン         | 一式          | 1式     | 250,000    |
| ダンプ          | 2t          | 1台     | 3,450,000  |
| 軽トラック        | 660cc, 4WD  | 1台     | 950,000    |
| 乳牛           |             | 100頭   | 30,242,300 |

4 経営管理の方法等

|   |
|---|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>・家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> <li>・牛群検定を実施し、優良牛を育成して乳量の増加と乳質の改善を図る。</li> </ul> <p>【農業従事の態様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通じて常時1人雇用する。</li> <li>・酪農ヘルパー制度を利用して、定期的な休暇を確保する。</li> <li>・飼料用機械の共同利用、共同作業を行う。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーストール方式を導入して群管理するとともに、自給粗飼料と購入飼料を混合した、TMR飼料を給与する。</li> <li>・自給粗飼料の確保については、表作のトウモロコシサイレージのみとする。</li> </ul> |
|---|

経営モデル類型 【個別経営体】  
 モデル類型1 2 乳用牛（畑地酪農）型 （適用地域：県全域）

1 モデルの特徴 県全域を適用地域とし、畑地による飼料基盤をもとにした酪農専作経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数                 | 作目名 | 生産規模 | 目標生産量           | 労働時間<br>(時間)  | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|-------------------------------|-----|------|-----------------|---|--------------|----|
| 畑 6.0ha<br>経産牛 40頭<br>育成牛 20頭 | 乳用牛 | 40頭  | 生乳<br>342,000kg | 総労働時間<br>5,109<br>雇用労働時間<br>598<br>1人当たり<br>労働時間<br>2,255 | 2.0          |    |

3 固定資産

|           | 規格・能力       | 台数・面積 | 取得価額       |
|-----------|-------------|-------|------------|
| 畜舎        | 木造          | 484㎡  | 27,104,000 |
| 堆肥舎       | 鉄骨、コンクリート   | 150㎡  | 7,000,000  |
| 尿溜        | コンクリート製     | 36㎡   | 1,500,000  |
| サイロ       | 100㎡        | 2基    | 3,626,000  |
| 農具舎       | 6×10m、木造    | 60㎡   | 3,240,000  |
| トラクタ      | 60ps、4WD    | 0.2台  | 1,124,200  |
| トラクタ      | 40ps、4WD    | 1台    | 3,956,000  |
| バートリナー    | 50頭用、2.2kw  | 1台    | 2,723,000  |
| パイプラインミルカ | 50φ、4ユニット   | 1台    | 3,664,000  |
| バルクカー     | 1500ℓ、2.2kw | 1台    | 1,654,000  |
| ボトムプラウ    | 18×2、60ps   | 0.2台  | 114,200    |
| ディスクハブ    | 18×28、60ps  | 0.2台  | 122,800    |
| ロータリ      | 220cm       | 0.2台  | 191,600    |
| ブロードキャスト  | 800ℓ        | 0.2台  | 62,200     |
| タイムソフ     | 180cm       | 0.2台  | 72,800     |
| コンブランス    | 4条播         | 0.2台  | 136,600    |
| カルチバツカ    | 250cm       | 0.2台  | 135,000    |
| スプレーヤ     | 600ℓ、13m    | 0.2台  | 273,800    |
| テッターレーキ   | 700cm       | 0.2台  | 288,400    |
| ディスクモア    | 160cm       | 0.2台  | 245,800    |
| コンハーベスタ   | 1条          | 0.2台  | 459,000    |
| ロールバレー    | 120cm       | 0.2台  | 830,000    |
| ラッピングマシン  | 120cm       | 0.2台  | 310,000    |
| ペールクリップ   |             | 0.2台  | 69,000     |
| テッピングワゴン  | 3t          | 0.2台  | 359,000    |
| ダンプトレーラ   | 2t用         | 0.2台  | 189,800    |
| バキュームカー   | 2,000ℓ      | 0.2台  | 254,000    |
| マニュアルレック  | 3.3t        | 0.2台  | 340,200    |
| パソコン      |             | 1式    | 250,000    |
| ダンプ       | 2t          | 1台    | 3,450,000  |
| 軽トラック     | 660cc、4WD   | 1台    | 950,000    |
| 乳牛        |             | 40頭   | 12,096,920 |

4 経営管理の方法等

|   |
|---|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>・家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> <li>・牛群検定を実施し、優良牛を育成して乳量の増加と乳質の改善を図る。</li> </ul> <p>【農業従事の態様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酪農ヘルパー制度を利用して、1回/月の定期的休暇を確保する。</li> <li>・飼料用機械の共同利用、共同作業を行う。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つなぎ方式で、パイプラインミルカーでの搾乳を行う。</li> <li>・自給粗飼料の確保について、(表)トウモロコシは設定サイロで貯蔵し、スーダングラスはロールペールによるサイレージと乾草利用とする。(裏)イタリアンライグラスは乾草調製により利用する。</li> </ul> |
|---|

経営モデル類型

【個別経営体】

モデル類型 1 3

肉用牛（繁殖肥育一貫、黒毛和種）型

（適用地域：県全域）

1 モデルの特徴

県全域を適用地域とし、肉用牛（黒毛和種）の繁殖から肥育までの一貫の専作経営を目標とする。粗飼料生産の基盤は、水田転作等によって確保する。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数                           | 作目名               | 生産規模        | 目標生産量            | 労働時間<br>(時間)           | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|---|-------------------|-------------|------------------|------------------------|--------------|----|
| 水田 1.0ha<br>畑 1.0ha                     | 肉用牛<br>繁殖牛<br>肥育牛 | 30頭<br>100頭 | 肥育牛63頭<br>子牛 10頭 | 総労働時間<br>4,787         | 2.5          |    |
| 繁殖牛 30頭<br>育成牛 7頭<br>子牛 20頭<br>肥育牛 100頭 | 水稻                | 0.4ha       | 540kg/10a        | 雇用労働時間<br>55           |              |    |
|   |                   |             |                  | 1人当たり<br>労働時間<br>1,893 |              |    |

3 固定資産

| 機械・施設名    | 規格・能力             | 台数・面積  | 取得価額       |
|-----------|-------------------|--------|------------|
| 繁殖牛舎      | 木造                | 350㎡   | 19,600,000 |
| 肥育牛舎      | 木造                | 1,000㎡ | 38,000,000 |
| 堆肥舎       | 木造                | 200㎡   | 5,600,000  |
| 農具舎       | 木造                | 60㎡    | 3,240,000  |
| ホイルローダ    | 0.6m <sup>3</sup> | 1台     | 3,800,000  |
| トラクタ      | 60ps              | 0.2台   | 1,124,200  |
| ブロードキャスタ  | 600ℓ              | 0.2台   | 62,200     |
| マニユアスプレッダ | 3.3t              | 0.2台   | 340,200    |
| ボトムプラウ    | 55cm一連            | 0.2台   | 114,200    |
| ロータリ      | 200cm             | 0.2台   | 191,600    |
| モアコンディショナ | 240cm             | 0.2台   | 667,800    |
| テグダーレーキ   | 700cm             | 0.2台   | 288,400    |
| ラウンドペーラ   | 120×150cm         | 0.2台   | 888,200    |
| フロントローダ   | 800kg             | 0.2台   | 42,040     |
| パソソ       |                   | 1式     | 250,000    |
| 乗用型田植機    | 側条4条植             | 0.2台   | 240,450    |
| 動力散布機     | 20ℓ               | 1台     | 110,250    |
| 草刈り機      | 1.7ps             | 1台     | 60,900     |
| 自脱型コンバイン  | 3条刈               | 0.2台   | 544,775    |
| 播種機       | 100箱/h            | 0.2台   | 19,950     |
| ダンプ       | 2t                | 1台     | 3,450,000  |
| 軽トラック     | 4WD               | 1台     | 950,000    |
| 繁殖和牛      |                   | 30頭    | 11,939,400 |

4 経営管理の方法等

|  |
|--|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>・家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> </ul> <p>【農業従事の態様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼料用機械の共同利用、共同作業を行う。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自家生産した雄子牛は、全頭肥育し、一部外部導入する。</li> <li>・自家生産した雌子牛は、一部後継牛として残すとともに、残りは子牛出荷する。</li> <li>・子牛は8カ月齢で出荷し、肥育牛は肥育期間19カ月、27カ月齢出荷とする。</li> <li>・飼料給与体系は、全農とつとりの和牛子牛育成、去勢牛肥育体系に準ずる。</li> <li>・自給粗飼料の確保について、(表) スーダングラスと稲わらは、乾草調製により利用する。(裏) イタリアンライグラスは乾草調製により利用する。</li> </ul> |
|--|

経営モデル類型 【個別経営体】

モデル類型 1 4 肉用牛（肥育黒毛和種）型 （適用地域：県全域）

1 モデルの特徴 県全域を適用地域とし、肉用牛（黒毛和種）の肥育経営の専作経営を目標とする。  
粗飼料生産の基盤は、水田転作等によって確保する。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数        | 作目名       | 生産規模          | 目標生産量             | 労働時間<br>(時間)  | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|----------------------|-----------|---------------|-------------------|---|--------------|----|
| 水田 1.0ha<br>肉用牛 200頭 | 肉用牛<br>水稲 | 200頭<br>1.0ha | 126頭<br>540kg/10a | 総労働時間<br>4,963<br>雇用労働時間<br>387<br>1人当たり<br>労働時間<br>2,288 | 2.0          |    |

3 固定資産

| 機械・施設名   | 規格・能力    | 台数・面積  | 取得価額       |
|----------|----------|--------|------------|
| 畜舎       | 木造, トン   | 2,100㎡ | 76,000,000 |
| 堆肥舎      | ブロック, トン | 300㎡   | 8,400,000  |
| 農具舎      | 木造, トン   | 100㎡   | 5,600,000  |
| ホイルローダ   |          | 1台     | 3,800,000  |
| 牛衝機      | 最大1t     | 1台     | 1,323,000  |
| 乗用型田植機   | 側条4条植    | 0.2台   | 240,450    |
| 動力散布機    | 20ℓ      | 1台     | 110,250    |
| 草刈り機     | 1.7ps    | 1台     | 60,900     |
| 自脱型コンバイン | 3条刈      | 0.2台   | 544,775    |
| 播種機      | 100箱/h   | 0.2台   | 19,950     |
| ダンプ      | 2t       | 1台     | 3,450,000  |
| 軽トラック    | 4WD      | 1台     | 950,000    |

4 経営管理の方法等

|  |
|--|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8カ月齢の肥育素牛をセリ導入し、19カ月間肥育し、27カ月齢で出荷する。</li> <li>飼料給与体系は、全農と通りの和牛去勢牛肥育体系に準ずる。</li> <li>自給粗飼料の確保について、稲わらを乾草調製し、利用する。</li> </ul> |
|--|

経営モデル類型 【個別経営体】  
 モデル類型15 豚（繁殖肥育一貫）型 （適用地域：県全域）

1 モデルの特徴 県全域を適用地域とし、肉豚の繁殖から肥育までの一貫経営の専作経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数                  | 作目名 | 生産規模 | 目標生産量        | 労働時間<br>(時間)   | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|--------------------------------|-----|------|--------------|--|--------------|----|
| 繁殖雌豚 100頭<br>種雄豚 7頭<br>育成豚 33頭 | 養豚  | 100頭 | 肉豚<br>2,236頭 | 総労働時間<br>4,015<br><br>雇用労働時間<br>74<br><br>1人当たり<br>労働時間<br>1,970 | 2.0          |    |

3 固定資産

| 機械・施設名  | 規格・能力     | 台数・面積  | 取得価額       |
|---------|-----------|--------|------------|
| 繁殖豚舎    | 高床式分娩房    | 500㎡   | 28,000,000 |
| 子豚・肥育豚舎 | 発酵床       | 1,400㎡ | 53,200,000 |
| 浄化槽     | 活性汚泥      | 1式     | 8,000,000  |
| 堆肥舎     | 切り返し      | 200㎡   | 5,600,000  |
| 自動給餌装置  | コンベア式     | 2台     | 945,000    |
| 給餌器     | ウェットフィーダー | 110台   | 2,016,000  |
| ガスブルーダ  |           | 40台    | 630,000    |
| 動力噴霧機   |           | 1台     | 220,500    |
| 豚衡器     |           | 1台     | 231,000    |
| ポプキヤット  |           | 1台     | 2,047,500  |
| パソコン    |           | 1式     | 250,000    |
| 高圧洗浄機   | スチーム機能    | 1台     | 420,000    |
| ダンプ     | 2 t       | 1台     | 3,450,000  |
| 種雌豚     | LW種       | 100頭   | 12,469,200 |
| 種雄豚     | D種        | 7頭     | 560,000    |

4 経営管理の方法等

|  |
|--|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式簿記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>・家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・系統豚LWの導入を図り、肉豚は、LWDとして出荷する。</li> <li>・繁殖豚舎の分娩房は、高床式スノコ房で、子豚はガスブルーダーで給温する。</li> <li>・肥育豚舎はコンベア式の自動給餌装置を設置し、省力化する。</li> </ul> |
|--|

経営モデル類型 【個別経営体】

モデル類型 16 採卵鶏型 (適用地域：県全域)

1 モデルの特徴 県全域を適用地域とし、採卵鶏経営の専作経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数     | 作目名 | 生産規模    | 目標生産量           | 労働時間<br>(時間)  | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|-------------------|-----|---------|-----------------|---|--------------|----|
| 常時飼養羽数<br>26,000羽 | 採卵鶏 | 26,000羽 | 卵重<br>450,775kg | 総労働時間<br>4,296<br><br>雇用労働時間<br>158<br><br>1人当たり<br>労働時間<br>2,069 | 2.0          |    |

3 固定資産

| 機械・施設名              | 規格・能力      | 台数・面積  | 取得価額       |
|---------------------|------------|--------|------------|
| 成鶏舎(高床式)            | 木造         | 1,000㎡ | 38,000,000 |
| 堆肥舎                 | 木造         | 300㎡   | 8,400,000  |
| 作業場施設               | 木造         | 500㎡   | 1,500,000  |
| 成鶏ケージ               |            | 1式     | 6,311,000  |
| 自動給餌機               |            | 2台     | 9,618,600  |
| 成鶏舎カーテン             |            | 1式     | 1,253,450  |
| ニップル・リッカー<br>(制御装置) |            | 1式     | 1,429,405  |
| 自動集卵装置              |            | 1式     | 466,000    |
| 高圧ポンプ               |            | 1式     | 7,956,480  |
| 鶏糞発酵装置              |            | 1台     | 140,000    |
| オートホッパ袋詰機           |            | 1台     | 2,640,000  |
| 自動鶏糞袋詰機             |            | 1台     | 780,000    |
| 堆肥運搬車               |            | 1台     | 3,900,000  |
| ショベルローダ             | 42ps       | 1台     | 507,000    |
| パソコン                |            | 1式     | 3,800,000  |
| 普通トラック              | 1t         | 1台     | 250,000    |
| 軽トラック               | 660cc, 4WD | 1台     | 1,730,000  |
|                     |            |        | 950,000    |

4 経営管理の方法等

|  |
|--|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>・家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべて成鶏導入とし、16カ月齢で強制換羽を実施し、24カ月齢飼育とする。</li> <li>・成鶏舎は高床式で、自動給餌、自動収卵、機械による鶏糞処理を行い、省力化を図る。</li> <li>・導入ロットごとにオールイン・オールアウト方式をとる。</li> </ul> |
|--|

経営モデル類型 【個別経営体】

モデル類型 17

食鶏型

(適用地域：県全域)

1 モデルの特徴 県全域を適用地域とし、食鶏経営の専作経営を目標とする。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数     | 作目名 | 生産規模    | 目標生産量         | 労働時間<br>(時間)   | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|-------------------|-----|---------|---------------|--|--------------|----|
| 常時飼養羽数<br>40,000羽 | 食鶏  | 40,000羽 | 生体重<br>475千kg | 総労働時間<br>3,012<br>雇用労働時間<br>56<br>1人当たり<br>労働時間<br>1,971 | 1.5          |    |

3 固定資産

| 機械・施設名 | 規格・能力        | 台数・面積  | 取得価額       |
|--------|--------------|--------|------------|
| 鶏舎     | 鉄骨平屋         | 2,640㎡ | 52,800,000 |
| 管理舎    | 木造, スレート     | 48㎡    | 2,170,000  |
| 鶏糞処理施設 |              | 480㎡   | 7,500,000  |
| 換気装置   | 200v, 0.75kw | 1式     | 7,200,000  |
| 給水設備   |              | 1式     | 1,690,000  |
| 自動給餌機  |              | 1式     | 4,400,000  |
| 自動給水機  | 丸型           | 1式     | 4,820,000  |
| ダンプ    | 2 t          | 1台     | 4,050,000  |

4 経営管理の方法等

|  |
|--|
| <p><b>【経営管理の方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>・家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> </ul> <p><b>【生産方式】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間餌付回数4回、出荷月齢54日齢として、全羽数をオールイン・オールアウト方式とする。ただし、中抜き出荷はしない。</li> </ul> |
|--|

経営モデル類型 【個別経営体】  
 モデル類型18 しいたけ・施設野菜・稲型 (適用地域：全域)

1 モデルの特徴 県全域山間地を適用地域とし、しいたけとほうれんそうを基幹としながら、水稻を加えた複合経営を目標とする。

2 経営計画の概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数 | 作目名                                | 生産規模                                 | 目標生産量   | 労働時間<br>(時間)                    | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|---------------|------------------------------------|--------------------------------------|---|---------------------------------|--------------|----|
| 水田 1.7ha      | ほうれんそう<br>水稻<br>しいたけ(乾)<br>しいたけ(生) | 0.2ha<br>1.5ha<br>14,000本<br>10,000本 | 2,400kg/10a<br>540kg/10a<br>35kg/千本<br>348kg/千本 | 総労働時間<br>6,555<br>雇用労働時間<br>734 | 2.5          |    |
|               |                                    |                                      |   | 1人当たり<br>労働時間<br>2,328          |              |    |

3 固定資産

| 機械・施設名   | 規格・能力    | 台数・面積   | 取得価額      |
|----------|----------|---------|-----------|
| 作業舎兼収納舎  | 木造・瓦     | 50㎡     | 3,150,000 |
| ビニールハウス  | 6×50m    | 6棟      | 8,304,000 |
| 乾燥室      | 木造16㎡    | 1式      | 960,000   |
| 散水施設     | 150m     | 1式      | 627,000   |
| 貯水槽      | コンクリ5.8㎡ | 1式      | 316,000   |
| トラクタ     | 4WD 25ps | 1台      | 2,016,000 |
| ロータリ     | 160cm    | 1台      | 400,050   |
| 動力噴霧機    | 可搬式6ps   | 1台      | 241,500   |
| かん水装置    |          | 1式      | 177,000   |
| 管理機      | 3.5ps    | 1台      | 194,250   |
| 運搬車      | クローラ式    | 1台      | 424,200   |
| 乗用田植機    | 側条4条植    | 0.1台    | 120,225   |
| 動力散布機    | 20ℓ      | 1台      | 110,250   |
| 草刈り機     | 1.7ps    | 1台      | 60,900    |
| 自脱型コンバイン | 3条刈      | 0.1台    | 272,388   |
| 播種機      | 100箱/h   | 0.1台    | 9,975     |
| 暴風ネット    | 300m     | 1台      | 36,900    |
| チェーンソー   | ハブ40cm   | 1台      | 52,000    |
| 穿孔ドリル    | 800回転    | 1台      | 15,000    |
| 発電器      | 800w     | 1台      | 130,000   |
| 乾燥機      | TC-60    | 1台      | 1,490,000 |
| 乾燥機      | TC-45    | 1台      | 1,325,000 |
| 発生フレーム   | 鉄パイプビニール | 1台      | 155,000   |
| 暖房機      |          | 1台      | 271,000   |
| 包装機      |          | 1台      | 15,600    |
| 電動機ホイスト  |          | 1台      | 290,000   |
| 軽トラック    | 660cc    | 1台      | 950,000   |
| ほだ木      | 14,000   | 14,000本 | 1,330,420 |
| ほだ木      | 10,000   | 10,000本 | 950,000   |

4 経営管理の方法等

|  |
|--|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> <li>・家族経営協定の締結を通じ、経営内における世帯員の役割分担、労働時間、休日、休暇等の就業条件、収益の分配等について明確化する。</li> </ul> <p>【農業従事の態様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農繁期における臨時雇用の確保により、過重労働を防止する。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほだ木は原木を購入し、自家生産で、確保する。</li> <li>・ほうれんそうは播種時期を分散させ、長期収穫し、労力分散を図る。</li> </ul> |
|--|

経営モデル類型 【組織経営体】  
 モデル類型1 稲・麦・大豆型 (適用地域：県全域平坦地)

1 モデルの特徴 県全域平坦地を適用地域とし、1区画が1～2haに整理され、一集落を範囲とした水田を法人が受託し、水稻・麦・大豆の効率的な生産を行う。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数 | 作目名            | 生産規模                     | 目標生産量                               | 労働時間<br>(時間)  | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|---------------|----------------|--------------------------|-------------------------------------|---|--------------|----|
| 水田 25.0ha     | 水稻<br>大麦<br>大豆 | 16.0ha<br>9.0ha<br>9.0ha | 495kg/10a<br>412kg/10a<br>250kg/10a | 総労働時間<br>2,648<br><br>雇用労働時間<br>169<br><br>1人当たり<br>労働時間<br>620 | 常時従事者<br>4.0 |    |

3 固定資産

| 機械・施設名   | 規格・能力     | 台数・面積 | 取得価額      |
|----------|-----------|-------|-----------|
| 格納庫      | 鉄骨        | 100㎡  | 5,670,000 |
| トラクタ     | 50ps      | 1台    | 5,357,100 |
| 側条施肥田植機  | 6条        | 1台    | 1,768,200 |
| 自脱型コンバイン | 4条        | 1台    | 5,191,200 |
| ロータリ     | 200cm     | 1台    | 1,005,900 |
| ブロードキャスト | 600ℓ      | 1台    | 423,150   |
| ドライブハロー  | 350cm     | 1台    | 1,155,000 |
| 草刈り機     | 1.7ps     | 7台    | 426,300   |
| トレンチャ    | ホガー式      | 1台    | 509,250   |
| 大豆麦播種機   | 6条        | 1台    | 682,500   |
| ロータリーカルチ | 3条        | 1台    | 735,000   |
| 大豆コンバイン  | 2条        | 1台    | 5,302,500 |
| ブームスプレー  | 500ℓ      | 1台    | 2,835,000 |
| 普通トラック   | 1t        | 1台    | 1,730,000 |
| 軽トラック    | 660cc、4WD | 1台    | 950,000   |

4 経営管理の方法等

【経営管理の方法】  
 ・複式簿記記帳の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。

【農業従事の態様】  
 ・労務管理を徹底し、常時従事者の年間安定就業に努める。

・必要に応じて臨時労力を確保し、日常栽培管理の徹底を図る。

【生産方式】  
 ・水稻品種、大豆品種の組み合わせに配慮して、作期の分散を図り、作業の集中を避ける。

・中・大型機械化体系により、効率的に作業を行う。

・大豆乾燥は共同乾燥調製施設を利用する。

経営モデル類型 【組織経営体】  
 モデル類型2 稲・大豆型

(適用地域：県全域中山間地)

1 モデルの特徴 県全域中山間地を適用地域とし、ほぼ連担団地化された、1～2集落を範囲とした水田を法人が受託し、水稻・大豆の生産に作業受託を加えた経営を行う。

2 経営モデルの概要

| 耕地面積<br>家畜頭羽数 | 作目名                          | 生産規模                              | 目標生産量                  | 労働時間<br>(時間)  | 家族労働力<br>(人) | 備考 |
|---------------|------------------------------|-----------------------------------|------------------------|---|--------------|----|
| 水田 19.0ha     | 水稻<br>大豆<br>水稻作業受託<br>大豆作業受託 | 12.0ha<br>7.0ha<br>4.0ha<br>4.0ha | 480kg/10a<br>250kg/10a | 総労働時間<br>3,004<br><br>雇用労働時間<br>0<br><br>1人当たり<br>労働時間<br>751 | 常時従事者<br>4.0 |    |

3 固定資産

| 機械・施設名   | 規格・能力   | 台数・面積 | 取得価額      |
|----------|---------|-------|-----------|
| 格納庫      | 鉄骨      | 100㎡  | 5,670,000 |
| 育苗用ハウス   | 300㎡    | 2棟    | 2,768,000 |
| トラクタ     | 33ps    | 2台    | 6,073,200 |
| ロータリ     | 180cm   | 1台    | 684,600   |
| 代かきハロー   | 240cm   | 1台    | 562,800   |
| ブロードキャスト | 300%    | 1台    | 266,700   |
| 乗用型田植機   | 5条植     | 1台    | 1,484,700 |
| 動力散布機    |         | 1台    | 110,250   |
| 自脱型コンバイン | 4条刈     | 1台    | 5,191,200 |
| 穀物乾燥機    | 循環式     | 2台    | 2,286,900 |
| 籾摺機      | 揺動式     | 1台    | 499,800   |
| 穀物計量器    | 1t/h    | 1台    | 290,850   |
| トレンチャ    | オガー式    | 1台    | 509,250   |
| サブソイラ    | 振動式     | 1台    | 296,100   |
| リターンデッチャ |         | 1台    | 264,537   |
| ロータリカルチ  | 3条      | 1台    | 735,000   |
| 大豆播種機    | 4条・30ps | 1台    | 462,000   |
| 動力噴霧機    | 可搬式6ps  | 1台    | 241,500   |
| あぜ塗り機    |         | 1台    | 582,750   |
| 育苗用播種機   | 180箱/h  | 1台    | 153,300   |
| 育苗器      | 240箱    | 1台    | 212,100   |
| かん水装置    | 一式      | 1式    | 177,000   |
| 草刈り機     | 1.7ps   | 1台    | 60,900    |
| 普通トラック   | 1t      | 1台    | 1,730,000 |
| 軽トラック    | 660cc   | 1台    | 950,000   |

4 経営管理の方法等

|   |
|---|
| <p>【経営管理の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式簿記帳簿の実施により、財務管理・資金管理を徹底する。</li> </ul> <p>【農業従事の態様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労務管理を徹底し、常時従事者の年間安定就業に努める。</li> </ul> <p>【生産方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水稻品種、大豆品種の組み合わせに配慮して、作期の分散を図り、作業の集中を避ける。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中・大型機械化体系により、効率的に作業を行う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆乾燥は共同乾燥調製施設を利用する。</li> </ul> |
|---|